

CODE VERSION 2.0

Lawrence Lessig

Chapter 7: なにがなにを規制するか

自由への脅威

自由への脅威

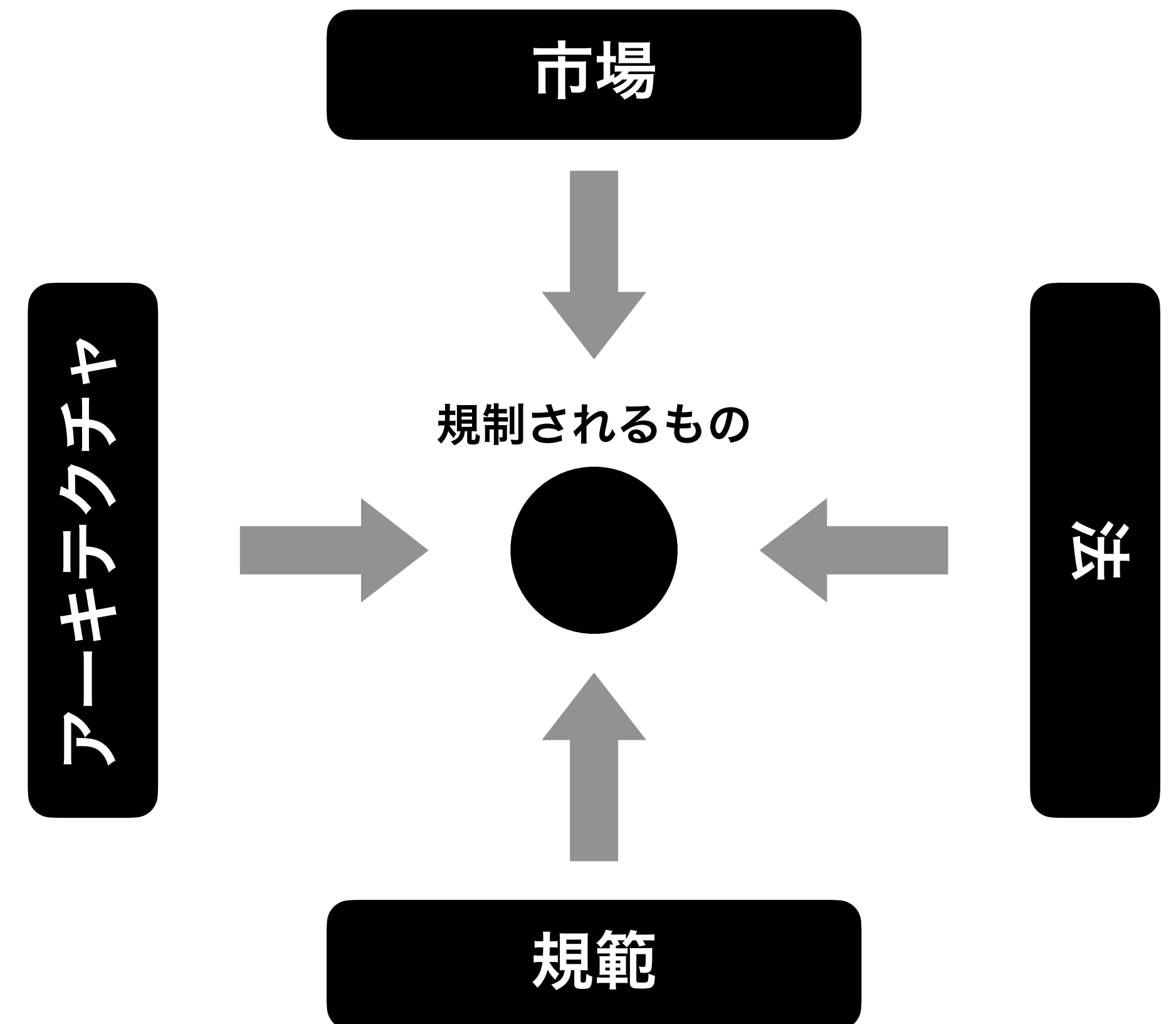
- ・ 19世紀: 規範
 - ▶ ジョン・スチュアート・ミル「自由について」
自由というものは政府と同じくらい、レッテル貼りや不寛容などの規範によっても脅かされるものであると指摘。規範を抑えろと主張
- ・ 20世紀初頭: 国家
 - ▶ 国家による言動弾圧
- ・ 20世紀半ば: 市場
 - ▶ 労働運動などが発生
- ・ 20世紀末～21世紀: **コードによる規制**

一般化された自由への脅威のモデルを考えられないか？

規制する4つの制約条件

法・規範・市場・アーキテクチャ

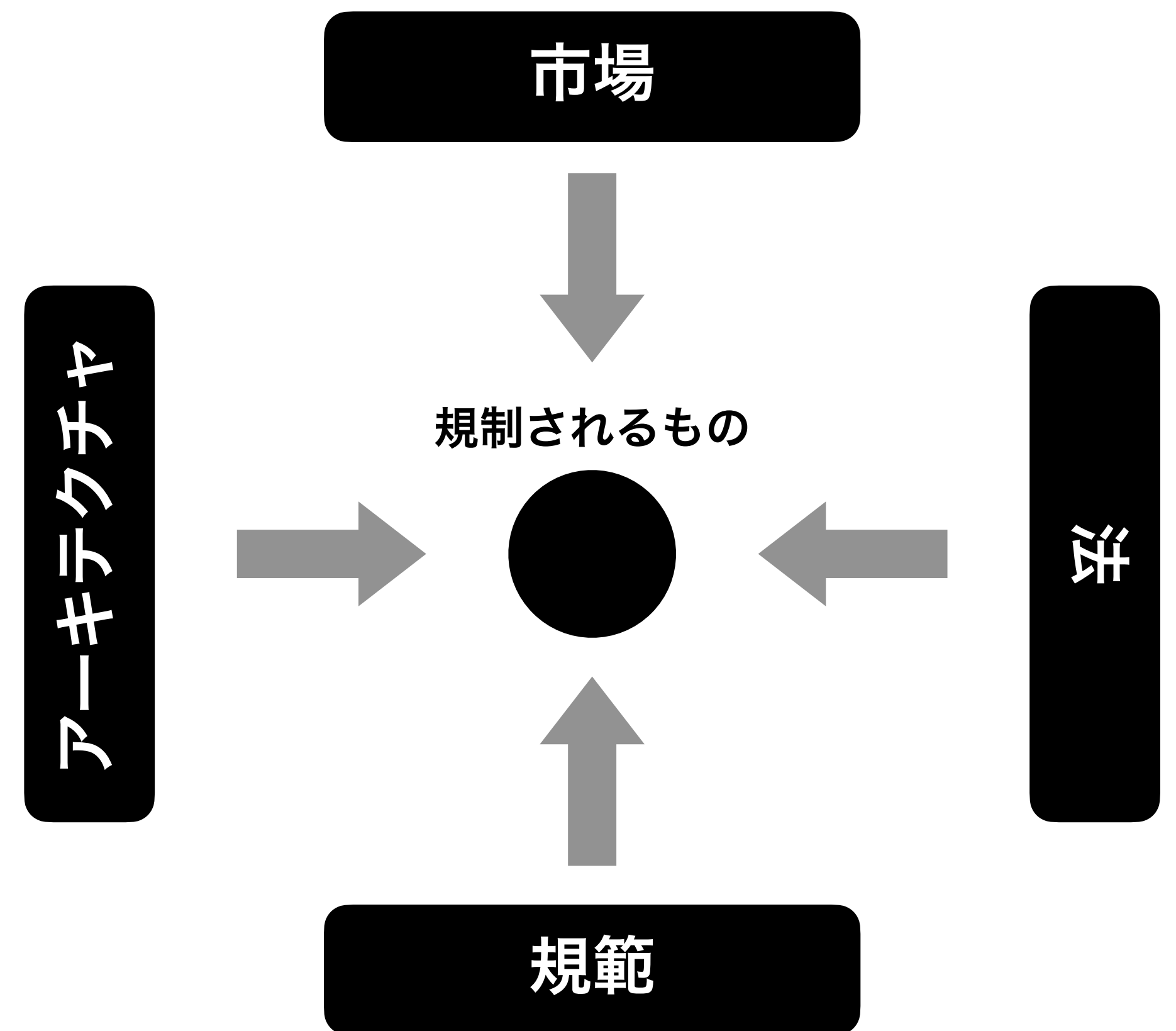
- ・ **法律**: 処罰による脅しを通じた制約
- ・ **規範**: コミュニティによるレッテル貼り
- ・ **市場**: 値段を通じた制約
- ・ **アーキテクチャ**: 物理的な負担による制約
- ・ 制約条件の間で相互に依存関係がある
 - ▶ ある制約条件は他のものを強化しうる
 - ▶ ある制約条件は他の条件と対立しうる
- ・ **これらの制約条件は変更可能**



規制する4つの制約条件

法・規範・市場・アーキテクチャ

- ・ 例: タバコ (´ー`)y~~~
 - ▶ 法: 18歳未満に販売禁止、路上喫煙禁止区域
 - ▶ 規範: 他人の車の中で吸うためには了承を得ないといけない、喫煙者に向けられる痛い視線
 - ▶ 市場: 値段、品質
 - ▶ アーキテクチャ: フィルターのテクノロジー、電子タバコ

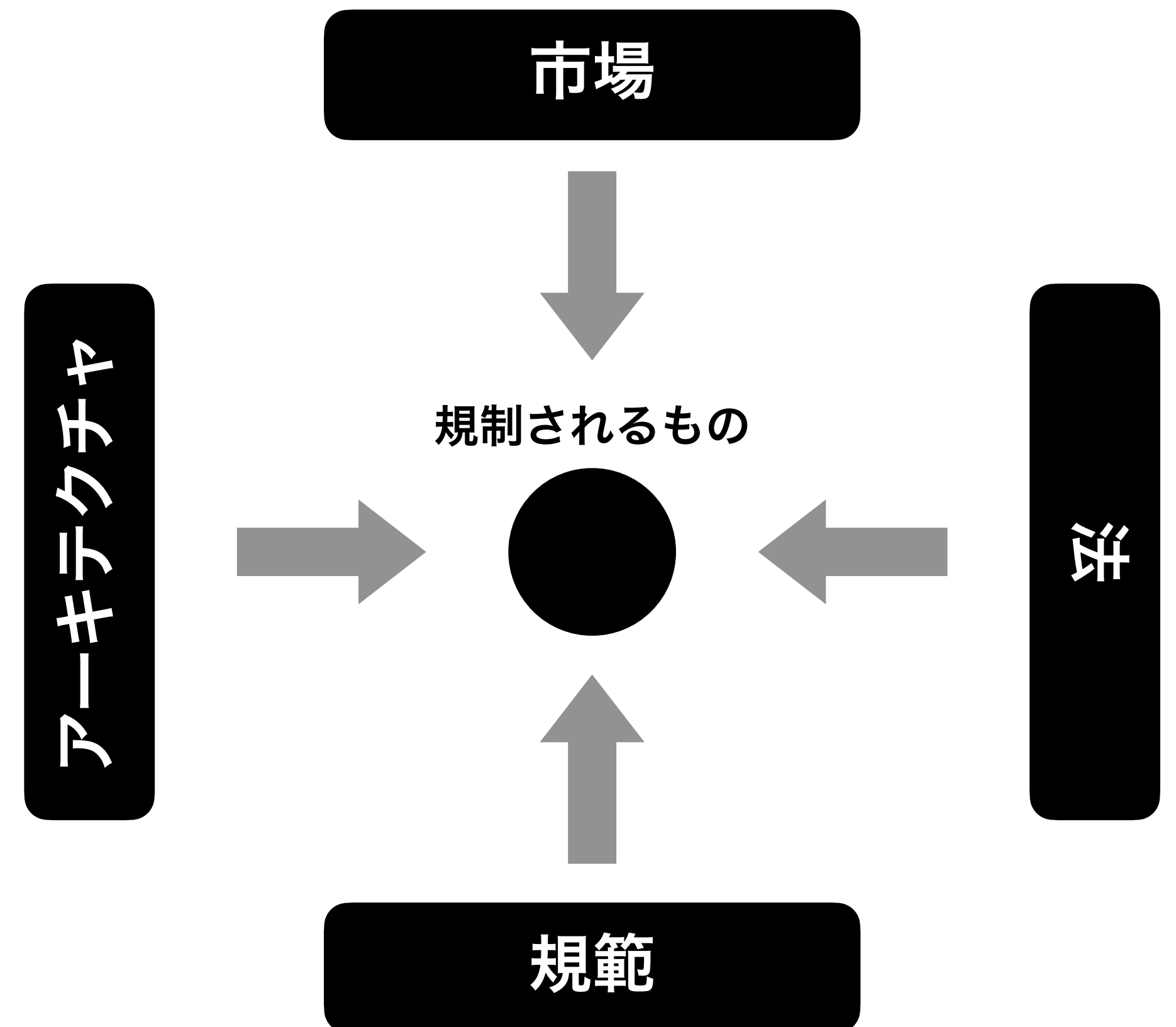


規制する4つの制約条件

法・規範・市場・アーキテクチャ

・サイバー空間

- ▶ 法律: 著作権法、名誉毀損法
違反した場合のコストをかけて脅す
- ▶ 規範: 何らかの共通理解による制約
事後の処罰の脅しもセット
- ▶ 市場: 課金、広告
- ▶ アーキテクチャ: コード、ソフトウェア、プロトコル
ソフトウェアとハードウェアによる制約



政府と規制する方法について

法による制約

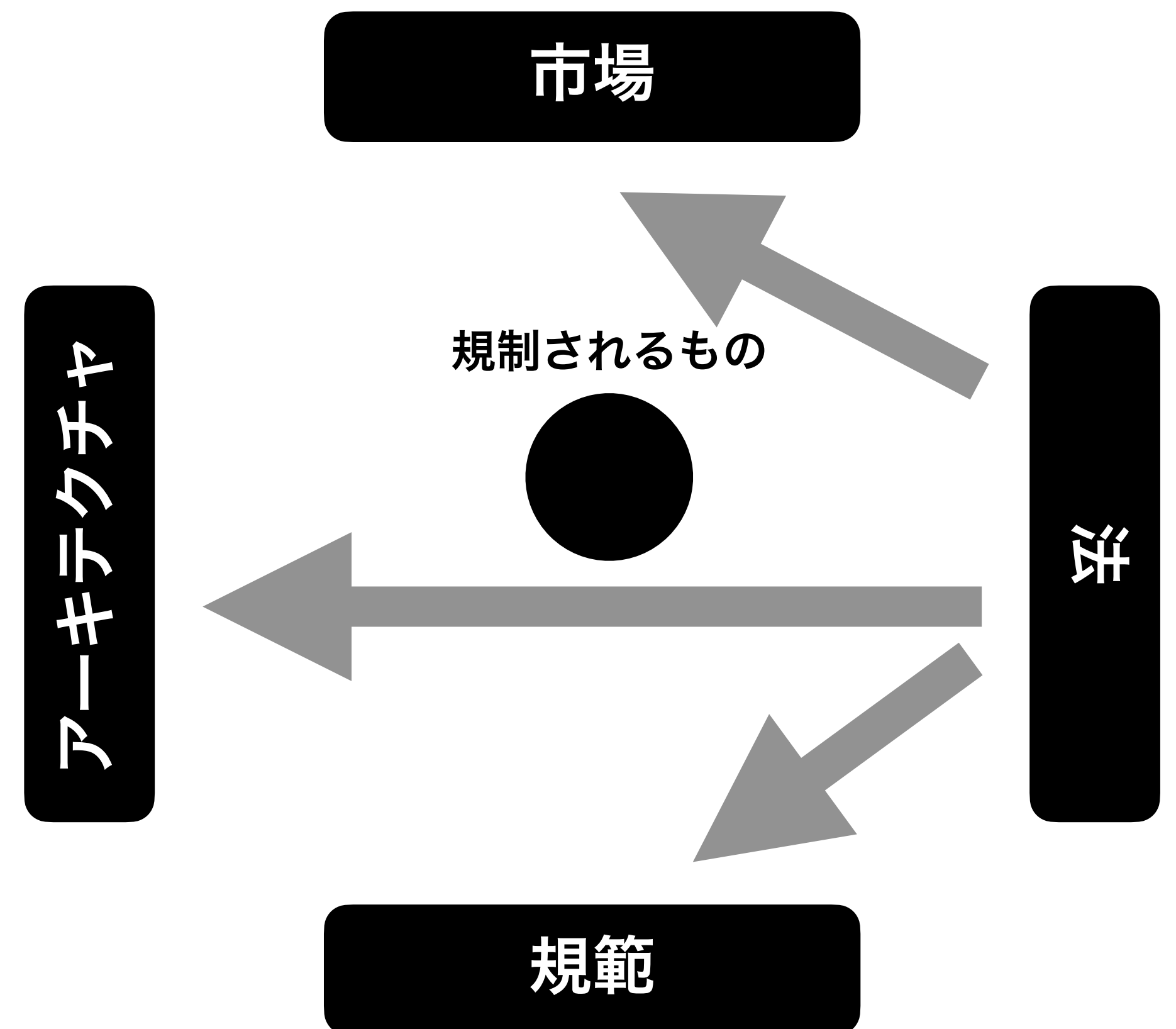
- ・ 同じ制約を別の手段で実現することが可能
 - ▶ 手段によってコストが違う
 - ▶ 例: カーステレオの盗難対策
 - 法: 厳罰化 (高コスト)
 - アーキテクチャ: 電子的ロックを掛ける (低コスト)
- ・ 制約条件は相互に影響し合う
 - ▶ 例: 育児
 - 法で決めた補助金を出すことで、市場が課してくるコストを低くする
 - ▶ 例: バリアフリー法
 - アーキテクチャの制約を法律によって規制
 - ▶ 例: 教育基本法
 - 法で決めた教育方針によって社会規範を形成する

政府と規制する方法について

法による間接的制約

- ・ 例: シートベルト

- ▶ 法: シートベルトの着用義務付け
- ▶ 規範: 公共教育キャンペーン
法が社会規範を規制する
- ▶ 市場: 保険会社にシートベルト着用者の保険料を下げるよう補助金を出す
法が市場を規制する
- ▶ アーキテクチャ: シートベルトを着けないと発進できないように規制
法がアーキテクチャを規制する



政府と規制する方法について

間接的な手法の問題点: 責任を逸らせてしまう

- その制約に関する責任がどこにあるのか混乱させ、政治的アカウンタビリティがなくなってしまう
- 例: 妊娠中絶とレーガン政権
 - ▶ 目的: 中絶件数を減らしたい
 - ▶ 政府はクリニックの医師たちに、患者たちに対して家族計画の手法として中絶の話はするなと命じた
 - 政府が直接規範形成を行うのではなく、医師を用いて間接的制約を課した
 - ▶ 患者は医師の医療上の見解と思って聞いてしまう

政府と規制する方法について

間接的な手法の問題点: 責任を逸らせてしまう

- その制約に関する責任がどこにあるのか混乱させ、政治的アカウンタビリティがなくなってしまう
- 例: 人種隔離
 - ▶ ~1948年 土地の登記書に、特定の人種に売ってはいけないという条項を設けることができた (直接的な制約)
 - ▶ 廃止後、アーキテクチャを用いた間接的な規制へと移行
 - 高速道路、線路等を用いて人の流れを切ることで分離を行う
- 透明性の高い手段があるときに、不透明な間接的規制に頼ることは認められるのか？

その先にあるもの

間接的な手法の問題点: 責任を逸らせてしまう

- ・ サイバー空間のコードも、国の規制ツールになりつつある
- ・ 政府は間接的にコーダーを規制することで目的達成ができる